

# F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：映像制作でつながる絆



「第45回ぴあフィルムフェスティバル グランプリ受賞」受賞時

「動画をコミュニケーションツールに」今でこそ動画サイトやスマートフォンなどで簡単に動画をみたり編集できる時代になりましたが、この言葉を聞いたのは10年以上前のことです。動画そのものを自己表現のひとつとして、またその制作過程も含めて、コミュニケーションツールになる。そう言いながら「動画」というツールで映像制作をサポートしたり、訳があつて外に出られない人立向けのワークショップやサイト運営、など多岐にわたる活動を続けているのがNPO法人湘南市民メディアネットワーク（以下、「SCMN」）です。

今回は代表の中野さんから、監督された映画「Retake リテイク」（以下、「リテイク」）の制作に至る過程やクラウドファ

ンディング、そして映画作りを通じてみえてきた地域との絆について、お話をうかがいました。

元々子ども頃から特撮やSF映画が好きで、中学生の頃には作家性のある映画監督の作品に注目するようになっていたそうです。高校では放送部がある学校に入り、自分で映像撮影・編集をしていました。高校2年性の時に転機が訪れ、「東京ビデオフェスティバル」というコンペに、5分の自作の映像作品「ミジンコピンピン」を応募したら優秀賞に選ばれました。その際に当時SCMNの代表だった方と出会い、その頃から、たまにSCMNでの活動に参加していました。（次ページに続く）



## 映像制作でつながる絆

コンペで優秀賞に選ばれたことがちょっとした自信になり、映画をもっと作れるような環境に身を置きたいと思い東京造形大学に入学しました。大学では特撮が好きで同級生を中心に特撮映画を作り、映画を撮り終えた後も制作チームの仲間たちと遊び、楽しい青春時代を過ごしました。大学卒業後、1年間のフリーターを経て、縁があってSCMNに所属することとなります。



表彰式の様子

「その後、映像制作の講座などを担当するようになり、そういつた中での縁をいただき、藤沢総合高等学校で映像制作の授業を受け持つことになりました。」そう話す中野さんは、この授業がきっかけとなり、インターンを受け入れしたり、自分と同じように高校生の頃から映像制作に向き合う学生たちをみていて、自分のやりたかったことと団体の事業とが噛み合ったような実感を持ってた気がしたそうです。また、この世代と触れ合う中でミュージックビデオや映画の構想ができていったりと、貴重なインプットや出会いの時間になり、制作への情熱が湧いてくるきっかけにもなったようです。

藤沢総合高等学校で出会ったメンバーとの制作や、その他の映像にかかる事業をしながら、構想を練っていた映画制作をスタートすることにしたそうです。事業をまわしながら映画制作をするというのは大変なことのように思えますが、中野さんとしてはどちらも団体の事業としてまた自分の活動も団体活動の一環となる、との思いで動きをしていったそう。ただ、そこでどうしても課題になったのが制作にかかる資金の問題とのこと。

そこで、メンバーと話し合い、他の制作事例なども参考に、クラウドファンディングにて資金調達を実施することにしたそうです。「始める前は不安も大きかったですが、実際にスタートして応援してくださっている方々が存在していることがわかると、資金面ももちろんですが制作にも大きなエネルギーとなりました」と中野さん。目標額を越え、160%の達成率で終了し、その後、完成した映画「リテイク」は多くの映画祭で上映され、評価を高まっていくこととなります。

映画に出演、また主題歌を歌うチョーキューメイとの出会いは藤沢総合高等学校でした。教え子とともに作り上げた子の作品はまさにSCMNの活動を通じて中野さんが思い描いていた制作を通じたコミュニケーションの結晶ともいえるのではないのでしょうか。

PFFアワード2023グランプリを受賞し、世界の映画祭を巡ってきた映画「リテイク」。来月2025年1月18日(土)から、新宿K's cinemaにて上映し、全国でも順次上映することが決まっています。

今回の取材で、会話や触れ合うといったことだけではなく、何かをつくるその過程がコミュニケーションのひとつ、SCMNを活動や中野さんをお話をきいて実感することができました。ぜひ皆さんなりのコミュニケーションを見出すきっかけに映画をご覧になってはいかがでしょうか？

(取材・記事執筆：永山)



「まちのスコール」での映像ワークショップの様子

## 団体紹介

### 湘南市民メディアネットワーク

【設立】 2007年5月

【代表理事】中野 晃太

【連絡先】〒251-0016 藤沢市弥勒寺1-22-21

まちづくりハウスみろくじ内

080-1120-1937

info@scmn.info

【URL】 <https://scmn.info>



湘南市民メディアネットワークは、主に湘南地域を中心に、映像・メディアコンテンツを通して人と人・人と地域をつなげることを目的としています。映像制作やイベントによって市民活動支援や地域の活性化等行う他、障がいの有無や年齢を問わず多様な市民や不登校・ひきこもり・貧困等の困難を抱える子ども達も含めた青少年を対象に映像作品制作ワークショップを行うことで、自己表現の機会づくりや自己肯定感の向上、社会参加支援、コミュニケーションの活性化、メディアリテラシー教育等を行っています。



藤沢市市民活動支援施設では、2020年度から現在にかけて、SNSでの広報・情報発信に関連する講座をのべ6回実施しています。中心として取り扱っているのはX（旧Twitter）なのですが、もちろん理由があつての選択となっています。

現在主要な情報発信手段としてのSNSとして挙げられるのはX、Facebook、instagramです。LINEは連絡手段としての側面が強く、Youtube、tiktokなどの動画に関しては、要求される知識・技術が多いため、専門性や習熟が求められがちになります。今回のNPOTIPSでは、主要な3つのSNSについて、NPOとしての使い分けについてお伝えします。

#### Xについて

当施設の講座でXを中心として取り扱っているのは、以下の理由からです。

- ・年齢・性別による利用者層の偏りが少ない
  - ・拡散性が高い
  - ・投稿の敷居が低い
- これらの理由から、活動の種類を問わず

導入しやすいと考えています。また、アカウントがないユーザーでも閲覧可能であり、個別の投稿にもきちんとURLが存在します。

#### instagramについて

女性の使用率が高く、画像やショート動画などの視覚的なアプローチに使われます。当施設でも講座で扱ったことがありますが、活動が「映える」「画になる」内容であれば有効な情報発信手段と言えます。動物や野外、芸術分野の活動などをしている場合にお勧めです。

#### Facebookについて

Facebookは実際に団体が築いてきた人間関係が大きく影響するSNSと言えます。友達の友達までしか通常の投稿が見えないので、団体に関わるコミュニティ向けの広報手段と言えます。

イベント・講座等へのリピーターさんが多かったり、定期的に参加者が通うような活動をしている場合に有効です。

#### instagram・Facebookの注意点

Meta社が提供するSNSについては、「アカウントがないと自由に閲覧できない」ことに注意が必要です。instagramについては単独の投稿であれば見られますが、アカウントの詳細に移動する際にログインを求められます。Facebookについても、ログインなしには自由に閲覧できません。

instagramだけ、Facebookだけで発信した場合、せっかく二次元コードを読みこんだり、検索してもらえても、詳細内容や団体情報を見られない機会損失が生じます。コミュニティ向けやターゲットが明確な場合でなければ、他の情報発信手段を併用することをお勧めします。



## 須賀川市民交流センター【tette テッテ】

なぜなに

NPO

vol.185



縁あって「須賀川市民交流センターtette」に行ってきた。福島県須賀川市の人口は、約7万3千人、街並みはコンパクトに揃っていて、JR須賀川駅は学生であふれていた。ウルトラマンの生みの親「円谷英二氏」の出身地のため、道路わきのウルトラマン達を横目に見ながら目指す「tette」まで車で5分程度。町の中心的な位置にあった。外から見るとたいそう不思議な建物で、5階建ての建物と聞いていたが、どこまでが1階で、どこからが2階なのかよくわからない。中に入ると天井が彼方であり、そこに階段や床がせり出している。木曜日の午後に着いたのだが、学生を含む多くの市民が行きかっていた。2018年に竣工と書いてあったので、まだ新しさも相当残っていて、清潔感が溢れていた。広いロビーというかエントランスに、透明な10㎡程度の広さのチャレンジ工房&ショップが3棟、距離をおいて設置されており、中でミニワークショップが開かれていた。何よりも驚いたのは、1階の床が平らではないのだ。微妙に登ったり下ったりしている。中にいたスタッフに聞いたところ、土地の起伏をそのまま建物の床にしたとのこと。当初は大変不評だったと言っていたが、3往復位したが、とても広い床面なので、なかなか味のある徒歩空間ではないかと個人的には気に入った。

ここは、図書館、生涯学習施設、市民活動施設、子育て支援施設、イベントホール、ウルトラマンミュージアムが同居している、いわゆる複合施設である。最新の公共施設は、人口の減少や昭和の時代に建築した施

設の老朽化にともなって、建て替えの際は機能を集約した複合施設にすることが多い。藤沢市でも、第4次藤沢市公共再整備プラン（素案）のパブリックコメントが始まり、資料を確認すると、市民活動推進センターも含まれている市民会館周辺の「OUR Project（生活・文化拠点再整備）」のプランが入っている。プランでは、市民会館・市民ギャラリー・アートスペース・南市民図書館・文書館・常設展示室・青少年会館・市民活動推進センターを集約し、市民のための新しい生活と文化の拠点となる予定だ。解体工事は、2026年から始まり、今から7年後の2031年が供用開始となっている。長い道のりではあるが、市民の自由な発想によるまちづくりの拠点になると思うと、どのような施設になるのか大変楽しみだ。他にも公民館、市民センター、保育園、小学校、中学校、市民の家、公園、墓苑、下水道施設など、16のプランが実施事業として掲載され、複合化を予定している施設も多々ある。おなじみの施設の再整備もあるかもしれません。

さて、須賀川市市民交流センターは、開館前に愛称を全国から募集し、「tette（テッテ）」と決まった。「手を繋ぐ」を須賀川では「てつてをつなぐ」というのだそう。いうまでもなく須賀川市は東日本大震災の被災地だ。市民が手を繋いで創造的な復興を目指すシンボリックな存在に仕立ててあり、子どもから高齢者まで、市民がその空間を活用しているように見えていた。また訪れたい場所の一つとなった。（て）

講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■2024年度 年未年始の休館

2024年12月29日(日)～2025年1月3日(金)

■パートナーシップミーティング in 藤沢

2025年1月29日(水) 14:00～17:00

■ITサポート講座「らくらくホームページ作成講座」

2025年2月3日・10日(月) 13:30～16:00

■会議室利用料金の改定

2025年4月1日(火)～

NEW!

支援施設からのお知らせ

### ■2024年度 年未年始の休館について

市民活動推進センター及び市民活動プラザむつあいは年末は2024年12月28日(土)まで、年始は2025年1月4日(土)より開館いたします。ご注意ください。

年未年始の休館：2024年12月29日(日)～2025年1月3日(金)

※2025年2月28日(金)～3月3日(月)の会議室等予約は、2024年12月28日(土)より受付いたします。



### ■企業・NPO・大学・市民のための パートナーシップミーティング in 藤沢 ーワカモノと考える湘南のSDGsー

SDGsを意識したワカモノの活動「障害の未来を考える文化祭2024」や、聴覚障害の当事者が行うSDGsを意識した「情報アクセシビリティ社会モデル事業」の実証実験として藤沢駅前北口商店街の企業と連携して行った活動などについて発表を聞き、SDGs達成のための新たな連携を模索しませんか。

日時：2025年1月29日(水) 14:00～17:00 (13:30受付開始)

対象：市民活動団体の方、企業・学校関係者、その他

会場：藤沢市役所8階会議室

定員：30名(先着順・要申込み)

参加費：無料

主催：神奈川県・藤沢市市民活動推進センター(指定管理者：藤沢市市民活動推進機構)



### ■ITサポート講座「らくらくホームページ作成講座」

インターネット上で団体の活動を紹介しませんか? 無料ウェブサイト作成ツールを活用しウェブサイトの仕組みを学ぶことから、ホームページ作成の実践まで幅広く学べます。

日時：2025年2月3日・10日(月) 13:30～16:00

会場：市民活動推進センター会議室

講師：市民活動支援施設ITサポーター

内容：1回目：ウェブサイトの仕組みを知る

2回目：ウェブサイトを作成してみる

参加費：2000円 定員：10名

対象：地域で活動している団体の方

※「1団体2名での参加」をお願いしています。

問合：藤沢市市民活動推進センター



### ■会議室利用料金の改定について

平素より藤沢市市民活動支援施設をご利用いただき、誠にありがとうございます。

藤沢市では公共料金の見直しが進められており、藤沢市市民活動推進センターの会議室も対象となりました。

2025年4月1日より、下記の通り利用料金に変更となります。

・会議室A：1時間 200円

・会議室B：1時間 180円

ご利用される皆様におかれましては、ご理解のほどよろしくお願いたします。



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪  
サポーターも随時募集中です!